



2年ぶりの活動再開～全校避難訓練・花ボラのみなさんの植栽～

6月11日（金）快晴。今年度初めての全校での避難訓練。実は昨年度も「三密」を避けるため実施できなかったもので、2年振りでの全校での避難訓練となりました。当初は、今年度も実施を見送る予定でしたが、今年度、保護者の皆様に急に引き渡しをお願いしたように、緊急事態の中では、「三密」を理由に避難を見送ることはできません。今回の訓練そのものが、今年度引き渡しを実施した反省から生まれたものでした。



流石小野小学校の子供たちと先生方なので、避難そのものは大変立派で、仮にこのような状況になっても、約6分あれば全校児童789名が校庭に避難できることが分かりました。一方、反省点は2点、1つは、教職員の服装。折角スタッフベストを作ったので、教室から避難するときは必ず着用し、子供たちの目印になるように心得ましょう。

2つ目は、「緊張感」。こういったところを見逃さず、その場ですぐに指導していただいている光景が見られましたが、訓練と分かっている、真剣に取り組む「空気」はとても大切なことです。私たち教職員も事前指導・事後指導を通して子供たちに語り続けていきましょう。



6月13日（日）。強い日差しを心配していましたが、時折日が差す程度の絶好のお天気のもと、「花ボランティア」6名の皆様をお迎えして学校の花壇にサルビアを植えていただきました。こちらも2年ぶりの活動再開です。この活動は小野小学校20周年を記念して行われたのが最初で、花の少ない小野小学校を少しでも花で一杯にしたい、というお気持ちからスタートしたのが始まりだったそうです。まず、土に肥料をやって、それから土を耕します。その後、1鉢ずつ丁寧に、心をこめて植えました。サルビアを目にした子供たちの喜ぶ顔が目に見え、とても心地よい汗を流すことができました。また、私たちもほとんどの皆様と初めての出会いだったので、お顔を覚え、お互いにお近づきになれたことが何よりの収穫でした。

ところでサルビアの花言葉は「尊敬」「知恵」。コロナ禍を理由に、たくさんの活動が未だに制限されていますが、逆にコロナ禍でもできる体験活動を知恵を使って見付け、子供たちと共に取り組んでいきたいものです。

学校コーディネーターの永沼教頭先生、スコップで土を掘り起こしたり、一人で接待を行ったりと今日も大忙しだった安藤教頭先生、休日にかかわらずありがとうございました。

（文責：手代木）